

6月定例会

●会期 6月15日～6月23日(9日間)

企業誘致に伴う鬼清水球技場の廃止条例や補正予算を可決



6月定例会議案採決(議案第19号)

今回は	
報告	4件
市長提出議案	19件
請願	1件

【報告第4号】自動車事故の和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分報告について

除雪作業におけるトタン破損を報告

市会計年度任用職員が除雪トザで除雪作業のため、市道保土沢線からY字路を右折した際、凍結路面が溶けて滑りやすくなっており曲がり切れず、ブレードの左下部を小屋の外壁に接触させ、波トタン2枚を破損させたものです。

【議案第1号】八幡平市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関する承認を求めることについて

税条例の一部改正専決処分承認する

地方税法等の一部を改正する法律(令和5年法律1号)等が令和5年3月31日に公布され、原則として令和5年4月1日から施行されるため、八幡平市税条例の一部を改正する必要があり、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないので専決処分したものです。

【議案第15号】令和5年度八幡平市一般会計補正予算(第3号)

2億7690万円増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ2億7690万1千円を増額し、総額188億6672万9千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼八幡平市物産品販路拡大事業委託料 222万4千円
- ▼市有財産整備基金積立金 5880万円
- ▼スクールバス安全装置購入費 242万7千円
- ▼消費下支え生活者支援業務委託料 3000万円

八幡平市物産品販路拡大事業の内容は

盛岡市を起点に盛岡駅や盛岡市内のショッピングモールなどで八幡平の物産フェアを行い、市物産品の販売会、ふるさと納税の普及啓発を図る内容である。

国民健康保険税の後期高齢者支援金の課税限度額引き上げによって、税収はいくら増えると試算しているか。

4年度のデータをもとに試算すると、約85万8千円の増収が見込まれる。

増収により国保税の引き下げを検討するべきでは。4年度は、歳入が不足し基金から1500万円繰り入れられている。また、被保険者が減少し、税収が減少している中、1人当たりの医療費が増加しているため引き下げは難しい。

今回の法改正により、「ミニカー」の区分から特定小型原動機付自転車(電動キックボードなど)を除く」と追加になっている。自転車では、ヘルメットの着用が努力義務になっている中、電動キックボードでは、ヘルメットの着用が義務から努力義務になっている。安全を考え、ヘルメットの着用を促すべきでは。

県は、安全性について啓発を強める方針を示している。市でも同様の対応をする。

企業誘致のために鬼清水球技場を売却し、市有財産整備基金に積み立てる予定のようだが、契約書の内容は、契約書を示した実績はないと認識している。事前審査にならないかも含めて、検討させていたたく。

スクールバス安全装置の仕組みと購入費の内訳を伺う。エンジンを切ると、車外まで聞こえる大きい音が鳴る装置である。安全装置解除のため運転手が後部座席のボタンを押さなければいけないので、子どもの置き去り防止ができる仕組みとなっている。今回の補正予算で、スクールバス全10台に設置する予定である。

消費下支え生活者支援業務の委託先と予算3000万円の内訳を伺う。

市商工会へ委託することで調整している。内訳は、2億5000万円相当の買物の10%の還元で2500万円、それに加盟店の手数料、販売促進費、広告費、事務管理費を加え3000万円である。

【議案第7号】財産の取得に関し議決を求めることについて

除雪ドーザ1台を3社の入札で取得

3社の指名競争入札により新規に除雪ドーザ(14ノ級)をコマツ岩手(株)盛岡支店から2365万円で購入するものです。

20年経過した除雪ドーザは

どう処理するのか。令和6年度以降に各建設業者、メーカーなどから見積を徴し、予定価格を設定してから売却する。

【議案第9号】八幡平市体育施設条例の一部を改正する条例

市鬼清水球技場を廃止する条例可決

八幡平市鬼清水球技場を廃止することに伴い、所要の整備をするものです。

企業誘致により球技場を売却するために条例の一部改正をするが、工場の建設予定

【議案第18号】財産の取得に関し議決を求めることについて

消防ポンプ自動車 3分団2部に整備

6社の指名競争入札により、新たに消防ポンプ自動車を互光商事(株)から3025万円で購入するものです。



購入予定と同型の車両



更新予定車両(3分団2部)

【議案第19号】財産の処分に関し議決を求めることについて

約5919万円で 市工場適地を売却

工場用地に使用する目的で地下げ申請のあった土地を売り払いしよつとするものです。

【請願第2号】旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の使用を求めるとの請願

100人署名の 請願を継続審査

請願趣旨(請願者、原文のまま)

(請願者)市ゲートボール協会(安代支部会長村上健二)令和4年11月18日八幡平市ゲートボール協会から八幡平市議会に対して、小屋畑ゲートボール場の存続を求める請願をしたところ、令和4年12月9日に開催された産業民生常任委員会において、「当該施設は平成27年に廃止された取り壊し対象施設である」と事実を反する審査で不採択になりました。市長はこれを理由に令和4年12月28日に当該ゲートボール場を完全閉鎖しました。施設利用者は、生きがいと健康づくりを楽しむの場を突然失い、大変困っています。このことは、利用者に苦痛を与えるものとなっています。令和4年12月まで冬期間は市内全域から参加し、6チーム30人で月2回交流大会を実施してきました。夏期間は雨天時に使用してきました。旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場は唯一市営の屋内ゲートボール場として活用されてきました。あと10年

耐震基準を満たしている鉄骨構造の施設です。この施設は、旧安代老人憩の家廃止に伴い、市より平成27年4月1日から安代地区ゲートボール協会に貸付(無償)したいこと。利用にあたっての管理等を、健康福祉課と文書で交わっています。又、「八幡平市公共施設再編計画」(令和3年度、令和12年度)では、旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場は「廃止に向け関係者と協議を進めます」と明記されています。ゲートボール協会を含めた関係者で協議することを市に求めています。是非、高齢者の生きがいと健康づくり、楽しみ場としての旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場の使用をさせて頂きますよう請願致します。

請願項目

必要な法令等を整備して、旧安代老人憩の家屋内ゲートボール場を令和8年4月まで使用させていただきたいこと。



産業民生常任委員会が現地を確認(7月6日)

一般質問

質問した事項

関 治人 議員(八起会).....05

- ・観光振興について
- ・教育環境整備について
- ・安代クリーン作戦について

渡辺 義光 議員(市民クラブ).....06

- ・市民総参加による(仮称)大更駅前顔づくり施設建設と運営戦略について
- ・北東北三県を代表する、いとしい兄川の山神像の魅力と保全について

勝又 安正 議員(八起会).....06

- ・移住定住対策について
- ・八幡平市の lindou 振興と「安代りんどう」の販売戦略について

北口 功 議員(無会派).....07

- ・市民文化会館について
- ・带状疱疹(ほうしん)予防について
- ・企業誘致について

熊澤 博 議員(自由クラブ).....08

- ・国保税の在り方について

工藤 多弘 議員(松西会).....08

- ・(仮称)大更駅前顔づくり施設および大更駅周辺開発について
- ・生活保護の取り組みについて
- ・公共交通手段について

高橋 悦郎 議員(日本共産党).....09

- ・少子化対策および移住・定住対策について
- ・生理用品の設置について

齊藤 隆雄 議員(日本共産党).....10

- ・少子化対策・子育て支援について

田村 正元 議員(八起会).....10

- ・起業志民プロジェクト事業について
- ・子育て、学校教育について
- ・観光振興対策と今後の振興計画について



せき ひろと 議員(八起会)



清掃作業を見直すべき 来年から安全な所で実施



集められた多くのアルコール缶

問 貝梨峠付近では、速度超過の車が多く清掃作業は大変危険である。作業内容を見直すべきではないか。
市長 来年からは、歩道のある箇所のみで実施する。
問 清掃区間の割り当て範囲が、分かりづらい地区もある。改善できないか。

市長 現状を確認し、細かく割り当てたい。
問 アルコール缶が多く集められ、飲酒運転が心配される。警察と連携して調査し、対策を講じるべきではないか。
市長 現在さまざまな対策を講じているが、警察にも現状を報告したい。

富裕層の経済効果

問 国の外国人富裕層を対象とした事業は、どの組織が取りまとめるのか。
市長 事業の申請をした市観光協議会が中心となる。
問 外国人富裕層が来るメリットを市内の事業者や市

民に広く周知する必要があると思う。市観光協議会の会長は、市長であることから、市が中心となって関係団体を取りまとめ、推進を進めるべきと考えます。

市長 国が主導で行う事業なので、好機と捉えている。状況を見ながら対応したい。

学校統合の影響

問 過疎化が進む地域において、学校の廃止は過疎化に拍車をかけることになる。ため慎重な判断が必要ではないか。
教育長 学校統合は地域の現状やタイミングを考えながら判断したい。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



わたなべよしみつ 渡辺義光 議員 (市民クラブ)



北東北代表・兄川の山神

文化財・観光活用を模索



兄川の山神像 (市指定文化財)

問 江戸時代から田山の郷
兄川山神社に祭られてきた
山神像が岩手県立美術館主
催の「みちのく いとしい
仏たち」に展示された。今後、
京都龍谷大学や東京ステー
ションの展示、テレビ放映
も予定されている。岩手・
秋田・青森3県から134

体が展示。代表してボス
ターや図録等全ての表紙を
飾ったのが兄川の山神像で
ある。山神像の文化財、観光
まちづくりの活用策を伺う。
市長 山村文化の継承と山
に暮らす人々を優しく見
守ってきた民間仏が高く評
価された。文化財の保全、

活用について学芸員を中心
に研究していく。議員の経
験や知見をご教授願いたい。
教育長 伝統文化を教育活
動に取り入れていきたい。
文化スポーツ課長 唯一無
二の造形美が魅力的である。
商工観光課長 文化や伝承
を商品化する研究を続ける。

まちづくり推進課長 地域
を学び地元愛を育みたい。
市民総参加による
顔づくり施設運営
問 合併以来、田村前市長、
佐々木現市長が公約に掲げ
た市最大のプロジェクト大
更駅前顔づくり施設の運営

について寄付の募集や小・
中・高校生のモザイク制作
などアイデアを募る考えは。
市長 施設運営や商店街活
性化について市民から積極
的な意見が寄せられている。
令和7年度運用開始を目指
し、市長を座長として関係
課長で鋭意、協議中である。



かつまた やすまさ 勝又安正 議員 (八起会)



移住定住の戦略は

移住相談の機会を多彩に



帰帰支援センターの岩手県ブース

問 移住支援金の増額内容
と新規事業の若者・移住者
空き家住まい支援事業補助
金の具体的な推進対策は。
市長 推進対策として、市
ウェブサイトで県いわて暮
らし移住定住ポータルサイ
トへの掲載、移住相談や空
き家バンクの利用相談など

の積極的な周知、制度説明
を行い、移住者の増加と市
民の定住につなげていく。
問 岩手県内の過疎化の現
状について伺う。
市長 県内33市町村のうち
25市町村が該当し、過疎地
域の指定を受けている。
問 移住者の受け皿である

空き家バンクの整備、働く
場所の確保、セミナーの開
催など、今後の取り組みは。
市長 空き家利活用セミ
ナーの開催、求人情報検索
サイトでの仕事探しのサ
ポート、ふるさと帰郷支援
センター主催の相談会への
参加、本市単独で移住相談

会を東京で実施する。
市のリンドウ振興
問 安代りんどうの国外生
産の取り組み状況は。
市長 現在販売実績のある
ルワンダ共和国の切り花生
産量は、右肩上がりです。推
し、昨年度の生産量は12

0万本、今年度は140万
本に達する見込みである。
問 花き生産部会が発行し
た「安代りんどう花育教科
書」の増刷の考えは。
市長 今後、現在行ってい
る学校以外でも花育の事業
が拡大される場合には、検
討していく。



きたぐち いさお 北口 功 議員 (無会派)



市民文化会館建設計画は

文化芸術推進審議会開催



築40年の市民センター大ホール

問 これまで多くの方から
望まれていた、市民文化会
館の建設計画と市民や各種
団体との協議会設立計画や
今後の方針はあるか。
市長 新市建設計画の中で、
新たな文化創出と充実のた
めの拠点となる、多目的型
文化交流施設の整備を図る。

今年度は、(仮称)八幡平
市文化芸術推進計画の策定
に向け、同推進審議会の開
催する。
带状疱疹ワクチン
市の助成の考えは
問 带状疱疹は、水痘・帯
状疱疹ウイルスの再活性化

によって発症する。80歳ま
でに3人に1人が発症して
いる。50歳以上で带状疱疹
を発症した人のうち、約
20%の方が带状疱疹後神経
痛を発症している。带状疱
疹ワクチン接種に対する国
の助成はまだないが、独自
で補助する自治体も出てき

ている。当市でも検討し実
施する考えはあるか。
市長 带状疱疹ワクチンの
予防接種は任意予防接種と
なっている。国では、同ワ
クチンの定期接種化が審議
会で検討されている。市と
しては定期接種化の審議を
注視している。

新たな工業団地は
問 現在の企業誘致の現状
と新たな工業団地の整備を
考えているのか。
市長 整備には用地取得や
設計施工に多大な時間と予
算を要するため、従来の誘
致形態を進めたい。

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



ひろし 博 議員 (自由クラブ)

市独自の国保税の減免を 国に負担軽減を要望する

問 国の制度改革で特別調整交付金がつくられ、全国的に18歳未満の均等割の3割免除が広がっている。厚生労働省は、22年度から未就学児の均等割を半額にしている。引き続き18歳までの減免拡大と全額免除を国へ求めることも、市独自の減免の考えはないか伺う。

市民課長 国からの具体的な事務処理などは示されていないが、県と共同保険者となっていることから、市民の不利益にならないように取り組んでいきたい。

市長 マイナカードを持たないことで、ひも付けされていない方を無保険状態にしてはならない。安心して医療機関を受診できるように担保されるべきである。



紙ベースの保険証とお薬手帳



くどう たひろ 工藤多弘 議員 (松西会)

新図書館は本当に必要か にぎわい創出につながる

問 以前より開催するとしていた大更駅前顔づくり施設イベントの進捗状況は。

問 施設維持管理費はどのくらいを想定しているか。

駅前顔づくり施設の中に図書館を持つことで、大更小学校や西根中学校の子どもたちは、学校帰りに歩いて通うことができる。歩いて通える図書館がすぐ身近にできることが、子どもたちにとって喜びであり、魅力である。

項目	幼児	児童	中学生	高校生		
年齢	0-3	4-6	7-9	10-12	13-15	16-18
男	84	305	567	287	67	20
女	110	219	828	594	268	102
合計	194	524	1,395	881	335	122
比率(%)	1.6	4.4	11.8	7.4	2.8	1.0

項目	一般	一般	一般	一般	団体
年齢	19-22	23-29	30-39	40-49	50-
男	22	11	153	376	2,199
女	42	116	902	1,224	3,107
合計	64	127	1,055	1,600	5,306
比率(%)	0.5	1.1	8.9	13.5	44.8

4年度の年齢構成別貸出利用者数



たかはし えつろう 高橋悦郎 議員 (日本共産党)

人口減少対策の具体化を 財政的に手が届かない

問 本市の転出者数は年間600人前後で推移している。そのうち盛岡市と滝沢市への転出者が全体の約50%である。この近隣自治体への転出対策が求められるが。

市長 令和2年度の調査では2091名で、市外から本市の事業所に通勤している方、全体の7割を占めていることと認識しており、今後の大きな課題である。

市長 将来的には、植林を考えた上で、植林はしなかった。植林を考えたことは承知している。宅地造成するには、場所的に非常に適地である。しかし、造成の費用を考えると財政的に手が届かない。

	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
前年の10月～表示年の9月						
転出の総数	623	606	747	659	638	574
うち滝沢市と盛岡市への転出	243	253	321	274	304	248
率	39.0%	41.7%	43.0%	41.6%	47.6%	43.2%

本市から盛岡市・滝沢市への転出者

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



さいとう たかお 齊藤隆雄 議員 (日本共産党)



教育費負担軽減を焦点に

無償化の拡充国の制度で

問 全ての子どもへの保育料無償化は実施できないか。
市長 利用が認定されない世帯など全ての子育て世帯への等しい支援とならない。幼児教育・保育料無償化の拡充は国の制度で検討するべきと考える。市の子育て支援策については、国や県

の動向を注視し、補助金の活用で充実していきたい。
学校給食費無料に
問 給食費の無償化は全国で254の自治体を実施、県内では10市町村が完全無償化を実施している。当市でも教育費の負担軽減の施

策として実施できないか。
教育長 県内において、給食費の完全無償化を実施している自治体が増えていることは認識している。一方で、国が子育て政策の強化の試案で、給食費の無償化に向けて実態を把握し無償化について進めていく体制

にあることも認識している。
問 国も必要と認めている。市の今後の取り組みとして早期に無償化する考えは。
教育総務課長 一律的な無償化は、国策ではないかと思っている。全体の流れに沿って、市が先んじてやることは考えていない。

定期代の補助拡充
問 定期代の補助拡充は、平館高校の志願者の減少につながるかと考えるか何う。
教育総務課長 志願者数の増減には関係ないと考える。
市長 当局側で相違するが、関係がなくなはないと思う。



八幡平市立田山保育所



たむら まさと 田村正元 議員 (八起会)



学校給食費とスキー授業

地域特性を生かした教育



スキー授業は八幡平市の大切な財産

問 本年度より、小・中学校の学校給食費が12%増額になったが、今後、保護者の声や市民の声が大きければ、見直す考えはあるのか。
教育長 食材費が学校給食費より大きく上回る状況となり、市の財政運営に支障を来す状況のため、やむを

得ず実施した。3年に一度の見直しなので、次年度の増額は想定していない。
教育総務課長 保護者からの問い合わせはなく、市としても昨年の値上がり分は抑えており、3年は様子を見ていくことにしている。
問 小・中学校のスキー授

業の方向性について。
教育長 スキー学習は地域性を生かした生涯スポーツ推進と地域の中で生活する子どもの成長を支える観点から、重要と認識している。
教育指導課長 スキー学習は、八幡平市の大きな特色として充実させていきたい

と思うので、学校の方で再度検討するように働きかけていきたいと思う。
実績を一定の評価
問 (株)八幡平DMOについての評価と今後の組織の在り方について方向性は。
市長 5年間は財政支援を

しながら行ってきて、8億円の評価を呼び込むなどの実績があり、一定の評価をしている。改めて役割分担の在り方を含め、組織体制、推進体制などをどのような形で組織改編も含めてもっていくのか、今年度はいろいろと考えていく。

議会の動き

(令和5年4月1日～6月30日)

4月

- ▶10日 盛岡広域環境組合議会臨時会
- ▶18日 議会広聴広報常任委員会
- ▶25日 議会改革推進会議議員研修会、議会改革推進会議

5月

- ▶12日 岩手県後期高齢者医療広域連合辞令交付式
- ▶17日 産業民生常任委員会
- ▶18日 総務教育常任委員会
- ▶24日 宮古市議会視察来庁
- ▶29日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査 (例月出納検査)

6月

- ▶5日 議員全員協議会、市政調査会理事会・総会
- ▶8日 議会運営委員会
- ▶14日 令和5年度第1回タブレット型端末操作研修会
- ▶15日 令和5年第2回定例会 (～23日)、産業民生常任委員会、議会広聴広報常任委員会
- ▶16日 議会改革推進会議
- ▶20日 議会運営委員会、議会改革推進会議
- ▶21日 八幡平市議会基本条例に関する議員研修会
- ▶23日 議員研修報告会、議会運営委員会
- ▶29日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査 (例月出納検査)
- ▶30日 議会広聴広報常任委員会



5月24日の宮古市議会視察受け入れ風景

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。